



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1930年(昭和55年)1月10日
会長：松波 恒彦
幹事：平野 好道
クラブ委員長：犬飼 達郎
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1573回例会

～R財団月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2012年11月1日(木) 晴 第17回

司会：堀慎治会場委員長
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：地区ロータリー財団 グローバル補助金委員長
籠橋美久さん

会長挨拶

松波恒彦会長



10月27日(土)・28日(日)は地区大会にご参加頂き、ありがとうございました。その席で高村博三地区大会実行委員長が感謝状を頂き、近藤雄亮さんがガバナーノミニとして紹介されました。第1日目は紺野美沙子さん、第2日目は前中日ドラゴンズ監督の落合博満さんが講演されました。10月22日(月)は国内友好クラブの福岡西RCを高村さん、野崎さんをはじめとする10名で訪問し、夜間例会「月見の会」に参加させて頂きました。「月見の会」は唐の時代に中国から伝わり、日本では平安時代中期頃から行われています。団子や栗などをお供えし、ススキなどの秋の草花を飾り、お月見をします。例会会場に月には見立てた大きな青い風船が飾ってありました。月といえば黄色なのに、なぜ青色なのか不思議に思いましたが、その後皆で踊った「炭坑節」の歌詞に「青い月」が出てきて、納得しました。名古屋熱田RACとの合同例会では郡上踊りを、先日沖繩にダイビングに行った時は沖繩民謡を踊りました。このところ踊りづいてるので、高須さんから「ついでに徳島の阿波踊りもどうか」と言われましたが、ご辞退させて頂きました。月見の会では各クラブから2名ずつ、カラオケののど自慢に参加しました。当クラブからは野崎さんが石原裕次郎、堀慎治さんが細川たかしの「心のこり」で自慢ののどを披露しました。私は代表してご挨拶をさせて頂き、その中のゴルフの話で、当クラブにはドライビングコンテストプロがいると、川本さんをご紹介しました。彼は非常に注目を浴び、翌日のゴルフでは1番最初に打つように言われ、ブンブンと素振りをして、カチンと打つと見事フェアウェイ上になり、喝采を浴びたそうです。国内友好クラブの札幌手稲RCと福岡西RCとはこれからも引き続き友好を深めていきたいと思っております。

出席報告

梅村昌孝出席委員長

会員65名 出席48名 (出席計算人数50名)

出席率 84.2% 10月28日は補填により 90.4%

委員会・同好会報告

長坂邦雄R財団委員長

本日メールボックスに「ロータリーカードについて」のアンケートを入れましたので、ご記入の上、事務局までご提出下さい。皆様ぜひお申し込みよろしくお願いたします。

ニコボックス

梅村昌孝ニコボックス委員長

- ・本日、R財団の卓話をさせて頂きます。宜しくお願致します。
籠橋 美久さん
- ・誕生日、敬老とありがとうございました。日々、元気に暮らしております。
嶺木 一夫さん
- ・昨日、5人目の孫が誕生しました。女の子でした。伊藤 豪さん
- ・やっと新社屋が完成し、今週引越し致しました。鶴田さんお世話になりました。これから頑張ります。
山口 哲司さん
- ・10月29日は結婚記念日でした。
近藤 雄亮さん
- ・今日11月1日は38回目の結婚記念日です。実に忍耐の日々でした。
松波 恒彦さん
- ・10月29日は結婚記念日でした。40周年です。
西本 哲さん
- ・明日は結婚記念日ですが、伊豆大島でダイビングです。ごめんなさい。
鈴木 健司さん
- ・11月1日は15回目の結婚記念日です。鈴木さん、お世話になります。
近藤 茂弘さん
- ・11月5日は妻の誕生日です。
宗宮 信賢さん
- ・本日、R財団グローバル補助金委員会の籠橋氏に卓話にお越し頂きありがとうございました。
増田 盛英さん
- ・籠橋委員長をお迎えして。
長坂 邦雄さん
- ・今日、11月1日は「タナカ皮膚科」開院30周年になります。これからも頑張る所です。
田中 隆義さん
- ・昨日、鈴木淑久さんや皆様のご協力を頂いて、地元名古屋を元気にするナゴヤ本を作りました。全国書店、コンビニで販売しております。
鶴田 浩さん
- ・好天が続きますが、スコアは大荒れです。
山本 英雄さん
- ・地区大会の第一日目に高村さんに大変お世話になりました。
遠山 堯郎さん
- ・寒くなりました。皆さん、ご自愛下さい。
関谷 俊征さん
- ・地区大会お疲れ様でした。
鈴木 淑久さん

前年度地区大会ホストクラブ感謝状授与

第2760地区2012-2013年度 千田毅ガバナーから前年度地区大会ホストクラブとして感謝状を頂戴いたしました。



11月誕生日おめでとう

森 恒夫さん 川本 昌市さん

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回CA・第5回理事会を行います。
- ・11月8日(木)ヒルトン名古屋4階「桜の間」にて職場例会を行います。開始時間は通常例会と同じです。
- ・2015-2016年度ガバナーノミニーに加藤陽一さん(瀬戸RC)が選出されました。
- ・前地区大会ホストクラブ感謝状を授与致しました。地区大会は通常例会と同じ扱いです。欠席者はメイクアップをお願いします。
- ・11月8日(木)18:00より「La maison HITOTOKI」にて第56回グルメ会を行います。

卓話 地区ロータリー財団グローバル補助金委員長 籠橋美久さん

RC財団未来の夢計画について

今月はロータリー財団月間であり、本日より当地区82クラブへの卓話訪問が始まりました。名古屋瑞穂RC様へお招き頂き、卓話の機会を頂きましたこと誠に有難うございます。

RIの理念「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」に基づき、奉仕活動が進められています。1917年にアーチC・クラフ会長が「世界でよいことをしよう」と世界に向けて基金を作られました。

当地区の2013-2014年度の組織を紹介します。現在は、11の委員会で構成されていますが、次年度からは7つの委員会になります。

ロータリー財団創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでした。一昨年度より未来の夢計画を実施しております。この計画は、財団の使命を新たにすると共に、ロータリアンが進めるプロジェクトを実施し易くすることで、持続可能な成果を生むことが出来ると共に、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困の救済を行い、世界理解、親善、平和の達成を目的とし、一層効果的で効率のよい支援方法を編み出しました。これらを踏まえ、地区補助金およびグローバル補助金の制度をより使い易く活用することが、必要と考えております。

<ロータリー財団未来の夢計画>

1.優先事項・優位点

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること(オンライン申請)
- ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組み、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること
- 世界の目標と地元の目標の両方が成果をもたらすためのプログラムを提供すること
- 実施決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めること

2.クラブにとって何が変わる

- 管理がクラブ主体となる
- 自立・自主的判断・裁量がクラブへ
- 一人のリーダーよりチームへ
- 地区で使用できる補助金が大幅に増える
- 計画・申請・許可は、全て前年度に行う
- 申請が直接提出が可能となる(IT化)

ここからは補助金の流れについてご説明いたします。年次寄付および恒久基金の利息の総額のうち50%が地区活動資金(DDF)へ、残り50%が国際活動資金(WF)へ配分され、これを新地区補助金、グローバル補助金へ配分され、運用されます。ロータリー財団未来の夢計画のうち新地区補助金とグローバル補助金の2つに分かれ、新地区補助金が50%以下、グローバル補助金が50%以上に配分されます。従来地区補助金(20%)が50%へ増額されました。昨年度の新地区補助金は、54クラブ、168,150ドルが支給されまし

た。従って、使用可能な資金は年次寄付の75%を使いましょう。これらは、私達が拠出した寄付金が返金されたものです。補助金は年次寄付「毎年あなたも100ドルを」と恒久基金の運用益によって支えられています。前年度の年次寄付+恒久基金寄付額は、672,600ドルでございました。この「未来の夢計画」は、皆様の寄付額により推進されております。当クラブの年次寄付額は、24,870.51ドルでございました。ご協力を頂き、有難うございました。これからも是非、皆様のご寄付をお願い致します。

ロータリーカードの入会をお願いします。各種特典があり、カード使用者の名前にてロータリー財団へ使用額の0.5%が年次寄付へ加算され、ゴールドカードの年会費の内3,000円が寄付されます。

新地区補助金は、使用目的が地区の裁量にて決定することが可能となり、使いやすい補助金となりました。従って、クラブからの申請が地区へ提出され、地区ロータリー財団の決定後、クラブは完了報告をするのみで済みます。

グローバル補助金は、財団の使命に関連する以下の6重点分野の一つにおいて、大きな成果と長期的な持続が望める大規模な国際プロジェクトを支援するものです。

- ・平和と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生設備
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

当地区の活動内容から見ても、グローバル補助金は海外への支援(世界パイロット地区100地区内における活動に限る)を重点的に行います。グローバル補助金の計画から申請に至るまでの流れをご説明します。まずは、6つの重点分野のいずれかに該当することで、実施国側(援助を受ける側)と当地区またはクラブ(援助国側)間に計画し、その計画の提案書案を作成し地区財団委員会グローバル補助金委員会へ提出して頂きます。提出して頂きました提案書案を日本事務局へ送付し、打合せを致します。その後、正式にRI財団委員会へ指定様式に記入の上、メールにて送ります。この時の指定様式は、会員登録がないとCPU上に標記されませんので、「会員アクセス」にて登録をして頂き、登録者の方にお送りして頂きます。この提案書がRI財団委員会から承認されグローバルNo.が付与され、次に申請書をメールにて送付して頂きます。この間およそ6ヶ月位を想定しております。この様な手続きが完了し、RI財団委員会より承認された後、12ヶ月以内にプロジェクトを実施しなければなりません。

- 次に、提案書作成に関する注意事項を列記させて頂きます。
- 1.実施地のクラブまたは地区との協同にてプロジェクトを進める。
 - 2.提案書の受付は、年間を通して随時受付です。
 - 3.クラブまたは地区が計画するプロジェクトは、他の団体が計画したものに参加するものであってはなりません。

以上が新地区補助金、グローバル補助金についてのご説明です。

続いてポリオプラスについてお話しします。当クラブから、ポリオプラス委員会において増田委員長が地区にて活躍されていますので、一言だけお伝え致します。今後3年間で7,500万ドルの寄付を集めることが発表されました。また、インドでは、ポリオの症例が0になりましたが、その他地区においては、まだまだ増殖しているのが現状です。最後に、当財団委員会へ今までより一層のご支援、ご協力をお願い致します。本日の卓話と致します。

例会のご案内

- 今週の行事 11月8日(木) 職場例会
場 所:ヒルトン名古屋4階「桜の間」
- 次週の卓話 11月15日(木)
卓話講師:愛知県瑞穂警察署署長 清水啓任さん
テ - マ:警察と瑞穂区の犯罪
- 次々週行事 11月22日(木) なごやか例会